

1 府中市の課題

- 1) 市では「第5次府中市総合計画」「グランドデザイン」「観光振興ビジョン」「産業振興ビジョン」など新たな戦略的ビジョンの策定や、「地域 ICT 化」の取り組みを進めているところであるが、内外からさまざまなヒトや投資を呼び込み、“選ばれる府中市”となっていく上では、府中市の玄関口であり、顔となる府中駅周辺の賑わい再生は重要な課題である。
- 2) しかしながら現状は、まちなか全体、駅周辺部において、日中も夜も人通りが少なく、特に「若者」「女性」「子育て層」の回遊滞留が少ない状況にある。
- 3) これからの都市政策、まちの発展を考える際に、「若者」「女性」「子育て層」は重要なメインターゲット層であり、若者女性や子どもから「行ってみたい」「楽しい」と思ってもらえるような、それ自体が目的地となる拠点がまちなかや駅周辺部そのものに必要であると考えている。

2 府中天満屋の建物を活用した公共エリアの考え方

1) 基本的な考え方

今後の府中市の活性化に不可欠である「若者」「女性」「子育て層」をメインターゲットにしつつ、産業分野が集う「ものづくりのまち」の立地特性による市内外の就業者や現在の客層も踏まえ、幅広い年齢層の方にも楽しんでもらえる機能を導入する。

導入する機能については、府中市らしさ、府中市ならではのといった他市町と差別化が図れるもの、これまで府中市になかった新しい発想のものを考えていきたいと考えている。

2) コンセプト案

「学び」と「チャレンジ」～幅広い世代への学びの場・機会の提供～

府中市のものづくり産業の集積、次世代育成の取組み、熱意のある人材・企業が豊富であることなどを背景に、幅広い世代に対する学び・学び直しの機会を提供することで、企業レベル個人レベルを通して新たなビジネスや経済循環の発現、自己実現の達成など、市民がチャレンジしている姿をブランド価値にするという観点から、大学等と連携した遠隔授業や、5G・ドローンなど先端技術を活用したコンテンツの展開

～アイデアをカタチに モノづくりデザイン～

知的好奇心～知る、学ぶ

ブックカフェ、ギャラリー、ワークショップやセミナーなど、お洒落で好奇心をくすぐる内容

アイデアをカタチに～触れる、造る

府中市ならではの特色が体感できる、地場産業ショールームや工房、ドローンや映像関連のスペース

実演・発表～魅せる、見せる

ドローンサーキット→飛ばす、走らせる、働かす、映像ディスプレイ（投稿、動画、コンテスト）

集う・憩う・参加する

多くの世代がくつろいで時間を過ごしたり、フリマ、チャレンジショップなどで市民が自由に使える溜り場、広場

3 府中天満屋導入機能の整備について

1) 整備の考え方 ①時期をズラした2段階整備 ②スモールスタート

<p>第1期整備 【令和3年7月オープンを目指し整備中】</p>	<p>■子育てステーション（府中版ネウボラ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 妊娠・出産・子育てに関する総合ワンストップ窓口 ② 気軽に立ち寄れるイベント等の開催により、家庭の孤立化を防止 ③ 夜間・土日祝日の開設により、働く保護者への支援充実 <p>■多世代が交流し、くつろぎ空間を創出する屋内広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 若者から子育て世代、高齢者まで多様な世代が過ごせる空間 ② 周辺ゾーンと連携した活用により、多世代が多目的に過ごせる空間 <p>■キャリア5G+W i - F i 整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 行政エリアを網羅した5G環境の整備による、デジタルコンテンツの活用
<p>第2期整備計画として検討しているもの 【令和4年4月オープンを目指す】</p>	<p>■ICTや5Gを活用した「学び」「ものづくりゾーン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 児童生徒のICT学習、映像体験（アミューズメント）活動の場 ② 大学と連携した、企業のリカレント教育の場 ③ シェアオフィス、テレワーク、商品PRなど、ビジネスでの利活用 ④ 各種セミナーや会議等に利用可能なコワーキングスペース <p>■レストラン・カフェによる多世代の「憩い・賑わい」空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全国展開のカフェ等の誘致 ② シェアキッチンによる、レストラン機能の多目的な利活用 ③ 広場周辺を活用したテイクアウトデリバリーの提供

4 天満屋プロジェクトのねらい等

1) ねらい 若者女性が訪れる新たな魅力を創る。府中市の顔・核をつくる。

2) ハコモノを作るのではなく、機能・サービス・時間を提供するものであること。

アウトカム→新たなチャレンジが起きている状態。ここから発信し、注目を浴びている状態
インパクト→個人も企業も自己実現できる「まち」であることを認知、確立。

ヒトがヒトを呼ぶ。ビジネスがビジネスを呼ぶ。

3) 施設整備よりコンテンツ重視

スモールスタート+トライ&エラー可。やって育てる。成功事例を重ねる。

4) 近隣にないもの。これまでにないもの。特色、エッジ→“楽しい”“ワクワク”“おしゃれ”

5 今後の課題と検討のポイント【第2期整備等】

1) 運営体制、運営手法等の検討

検討内容	分担	検討のポイント・留意点
① 事業背景の整理 (課題、課題解決方策の整理)	検討委員会	地域ニーズとの合致。府中らしさ、府中ならではの近隣にないものの検討
② 事業目的に基づくコンセプトの策定	検討委員会	府中駅周辺の賑わい再生
③ 空間機能の整理とゾーニングの作成	検討委員会	ゾーンの機能と活用の検討 行政エリア全体の親和性
④ 実施事業の検討、事業企画の検討	ワーキンググループ	子育てしながら働く親にフォーカスした事業の検討
⑤ 運営手法・運営体制の検討	検討委員会	まちづくり会社設立や共同事業体での運営の検討
⑥ 整備経費及び運営経費の財源(資金調達手法等)の検討	検討委員会	国の補助金、稼げる施設等の誘致等による資金調達
⑦ プレイヤー発掘支援・サウンディング調査	ワーキンググループ	やりたい人の声だけでなく、「欲しい人の声を」
⑧ 概算事業費の算出、整備スケジュールの作成	検討委員会	

2) 今後の検討内容

コンセプト:「学び」と「チャレンジ」

『学び』～市民や企業、学生が本物を学ぶ・世界とつながる	
ものづくり ハイブリッド大学	<ul style="list-style-type: none"> ●リアルとオンライン両方の学び ●大学の単位取得と連携したカリキュラム
先端技術体験	<ul style="list-style-type: none"> ●ドローン操縦体験 ●映像体験・eスポーツ ●5Gを活用したVR（仮想現実）・AR（拡張現実）体験
市内企業のPR	<ul style="list-style-type: none"> ●市内企業の技術体験 ●世代を超えた学びの提供 ●リクルート支援
『チャレンジ』～やってみる・新たなコトをおこす・稼ぐ	
コワーキングスペース	<ul style="list-style-type: none"> ●サテライトオフィスの提供 ●テレビ会議システム等の最新設備の提供
コンテンツ制作 スタジオの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●最新コンテンツ制作 ●Vtuber スタジオの提供
新規起業支援	<ul style="list-style-type: none"> ●チャレンジショップ のサポート、相談 ●シェアオフィス
レストラン活用	<ul style="list-style-type: none"> ●全国展開のカフェの誘致 ●地元事業者によるシェアキッチン・テイクアウトデリバリー ●起業したい人のゴーストキッチン
働くママの自己実現の機会創出～働きながら子育てができる～	<ul style="list-style-type: none"> ●1階SMを活用した「新たな」買い物予約サービス ●企業側の試作品に対するテストマーケット ●働くママをモニターにした商品開発
『第1期から第2期への賑わいの接続』～憩い・自分時間の創出	
屋内広場の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●若年層・ママ友の交流の場の創出 ●自主的なイベントなどの開催よりくつろげる空間を提供 ●ストリートピアノによる発表の場の創出 ●中・高校生の美術部の黒板アートによる表現の場の創出

デジタル・ICT技術の活用・5G通信環境の整備